

国会請願署名推進コーナー

【団体署名】 (52団体)

【個人署名】 (1193筆)

より良い社会づくりに命をかけ奔走し犠牲になられた先達者、そんな皆さんのお陰で命のバトンが渡されている。より豊かな未来を後世に伝えることがこの時代に生きる者の使命に違いない。そんな大切な国賠同盟・・・署名にも仲間増やしにも微力を注ぎたい。

とにかく大切なこの黄色の署名。いつでも・どこでも・どんな場でも機会をとらえてお願いするには持ち歩くことが必須。バッグに用紙を入れておくことですね。行きつけのカフェで寛ぎながら、オーナーに。こまめに地元の公民館で月一回開催の映画会では10名の署名を頂ける絶好のチャンスだ。そんなことの積み重ねですね。

【国会請願】参加者募集!

5月16日(火)午前10時集合

参加希望者は、遅くも4月25日までに事務局まで登録して下さい。なお、交通費・昼食代は支給しません

【お詫びと訂正】

先月号三面「熱風」欄13行目の「妹弟」を「姉弟」に訂正。(編集部)



「不屈」No586付録 埼玉版 (No414)

治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟 埼玉県本部 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 2-3-10 黒澤ビル3B 電話・Fax 048-824-0094 chian2022@gmail.com

〈国会請願三項目〉

- ①国は、治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
②国は、治安維持法犠牲者に謝罪し賠償を行うこと
③国は、治安維持法による犠牲の実態を調査し、その内容を公表すること

「同盟」出番の情勢下、5・16「国会請願」と「特別期間」(4月～6月)の成功を訴えます 県本部会長 加藤 ユリ

統一地方選挙真つただ中、政治革新のための「奮闘」に心から敬意を表します。

先に開催された中央常任理事会は、50回目の「国会請願」の成功と第40回大会決定「一日も早く2万人の同盟を建設する」目標の実現めざし、各県支部が自主目標達成のために大いに力を尽くすことを呼びかけ、4月1日から6月30日までを「署名・会員拡大の自主目標達成特別期間」と設定しました。埼玉県の同盟も全国の運動と連帯して積極的に「特別期間」に取り組んでいきたいと思ひます。

今日の情勢は、国会論戦でも明らかになつたように、自公政権が国民の合意もえずに強行した安保3文書

共産党行田市議団、行田9条の会、全日本年金者組合幸手支部、寄居支部、所沢支部、羽生支部、栗橋支部、越谷支部、三芳町支部、飯能支部、上福岡支部、新日本婦人の会東松山支部、川口支部、鳩ヶ谷支部、埼玉県高等学校教職員組合、埼玉支部、川口高校分会、盲学校分会、深谷商業高校分会、女性部、川口支部、松伏高校分会、障害児教育部、特別支援大宮ろう学校、和光学校分会、騎西学校分会、南陵高校分会、埼玉土建一般労働組合、同青年部、秩父支部、同主婦の会、同青年部、蕨・戸田支部、同主婦の会、同青年部、熊谷支部、同主婦の会、同青年部、久喜・幸手支部、同主婦の会、同青年部、熊谷支部、同主婦の会、同青年部、中部支部、同主婦の会、同青年部、越谷支部、同主婦の会、同青年部、春日部支部、同主婦の会、同青年部、比企西部支部、坂戸支部、

署名合計 (3月末日現在)

個人署名 3680筆
団体署名 93筆

同盟文芸

短歌

東空を茜に染めて 開けゆく 勝利へ漕ぎ抜く 力のペダル 春日部市 細谷 宣朗

防衛費といいくるめつつ軍拡する その先の交戦背筋が凍る 川口市 宮地 さか枝

俳句

青空やキイキイ百舌は苦しげに 春日部市 浅子 薫衣
いざ署名臍月めざして同志達 行田市 大野 辰男

亡き同志の反戦の志受ける春

さいたま市 小池 莊市
ロウバイの枝にほのかな花咲かせ 行田市 鈴木しげる

川柳

軍国化専守防衛捨て先制 戦争法大軍拡のクーデター 春日部市 福家 駿吉

熱風

タモリさんの「新しい戦前になるんじゃないですかね」の発言が話題を呼んでいるが、岸田文雄自公政権は、戦後最悪と云われた「安倍政権」でも出来なかつた「大軍拡路線」を押し進め、再び「戦争する国」の暴走を始めている▼また、多くの政党が大軍拡を推進・容認する翼賛政治の危険性も増し、権力の監視役でなければならぬメディアもその役目を果たしていない状況もあり「いまの日本は『満州事変』前夜と似ている」と危機感をののらせる▼この様な情勢のもと、最近、大軍拡に真つ向から反対し、野党共闘の強力な推進力となつて奮闘する日本共産党に対するバッシングが激しさを増しているが看過できないことである▼ある学者が、「今また、『反共は戦争前夜の声』という言葉をかみしめなければなりません」として、ドイツの牧師マルティン・ニーメラーの有名な言葉を紹介して、「最初共産主義者を攻撃したとき、私は声をあげなかつた」という間違いを繰り返さないために、そして、後になつて「私のために声を上げる者は、誰一人残つていなかった」という状況を生まないためにも・・・と警鐘を鳴らしていたが、「反共の後に戦争が来た」歴史の教訓をいま学ぶ必要性を強く感じている。「新しい戦前」にさせないために・・・

は、5年間で43兆円にのぼる大軍拡で「専守防衛」を投げ捨て、他国の領土を奥深くまで攻め込む「敵基地攻撃能力」を保有するもので、これらは、日本が米国と一緒に海外で戦争する国にすることになり、絶対許すことができません。しかし、岸田首相は、専守防衛と敵基地攻撃は両立しえないし、憲法解釈の変更が明らかなのにも拘わらず「変更していない」と言い張り、憲法論の根本の問題でうそをついています。アジアで重要な位置にある日本は、戦争放棄と戦力不保持の憲法9条を持っています。これは日本の宝です。排他的な軍事ブロックでは決して平和はつくれません。すべての国を包み平和の枠組をつくることこ





秩父郡上日野沢村の大山神社の神官宮川津盛は、近郷に名望があることから、同村の村竹茂市の頼みにより明治一七年一月二八日の門平惣平宅で開かれた小前会議に参加した。三日後の三十一日の小前会議の終了後、田代栄助を自宅に泊めた。栄助五〇歳、津盛五六歳、二人はこの夜何を語り合ったのであろうか。

事件探訪 秩父

第19回

宮川津盛の墓碑

篠田 健一

者の家宅破壊等を協議し、津盛は会計副長の任につくことになった。

武装蜂起後は栄助と共に甲隊に属して下小鹿野村から小鹿野町、そして大宮郷に進軍。

大宮郷では栄助から一六五円を渡され、そのうち一〇〇円を甲大隊長の新井周三郎に渡し、三四で草履と木綿を買い各隊に配布した。三日皆野村に進軍し、負傷した新井周三郎の手当ために裕と白木綿を買い求めている。

明治一八年一月三十一日、浦和重罪裁判所は津盛に重懲役九年六月を言い渡した。浦和監獄入獄後の明治二二年、大日本帝国憲法発布の大赦で出獄し帰郷。その後、彼が開いた塾には門平耕地をはじめ近隣耕地の子弟があつたと絶たなかつたという。

明治三八年一月二八日に死去、享年七七歳だった。

【交通】秩父鉄道皆野駅より皆野町営バス上日野沢行き東門平下車徒歩約15分。

時話題

“反共は戦争前夜の声”について考える



徴用工問題 被害者を置き去りにしたままでは解決にならない

さいたま市北区平和フォーラム代表世話人 児玉 捷之

私は定年退職後、「絵画教室」に通つて子どもの頃好きだった絵を再び学び、最近「平和をテーマ」に油絵を描き、毎年「展覧会」に出している。

昨年、「日本アンデパンダン展」に出展した私の作品を「民主文学」七月号の「芸術批評のひろば」欄で

とりあげてくれたので引用させていただきます。 「今回のアンデパンダン展は、第二次世界大戦を思い起こさせる作品が多かった。小林多喜二の特高警察による拷問死を描いた小池莊市『反共は戦争の前夜』。多喜二の死体が横たわる周りを囲む同志達。その上に描かれた昭和天皇と東条英機。そしてヒトラー。戦争反対と言っただけで虐殺された。アウシュビッツで殺された無辜の人々。今、二一世紀で

起きていた戦争を憂いている芸術家達の、心の叫び声が聞えて来た」と。 私は、絵のタイトルを「反共は戦争前夜の声」としたが、その後の歴史の岐路にあるとき、「反共の後に何が来たのか？」歴史の教訓を学ぶ必要性を強く感じたからである。

日清・日露戦争のなかで日本政府は軍事的強圧的、差別的に朝鮮に踏み込んでいった。韓国併合の一九一〇年以降の植民地支配では土地調査事業、産米増殖計画によって朝鮮社会の八割を占める農民の生活は極端なまで貧困化したなかで、朝鮮人強制的連行・強制労働(徴用工)、日本軍慰安婦問題があつた。軍事的、強圧的、差別的に行われた深刻な人権侵害と被害の責任について、日本は背を向けている事が問われているのである。

歴史に目を閉ざし、被害者を置き去りにしたままでは解決にならない、日本政府・被告企業が強制動員の事実を認めて真摯に謝罪し、その証として償いのために資金を拠出し、同じことを繰り返さないための措置を具体的に講ずること、そのために被害者らに徹底するように配布をしたのである。

慰安婦問題と強制連行をめぐる答弁書を閣議決定したのは二〇二一年四月、『従軍慰安婦』または『いわゆる従軍慰安婦』ではなく、単に『慰安婦』という用語を用いることが適切とした。朝鮮半島から日本に連れてこられた人々については「朝鮮半島から内地に移入した人々の移入の経緯は様々であ



「反共は戦争前夜の声」 F40

党が先ず弾圧された。日本では稀代の悪法と云われた「治安維持法」で…、絵の中に、国賊、非国民とセンセーショナルに報道する当時の新聞を貼りつけたが、3・15事件では、千六百名の共産党員らが逮捕され過酷な拷問を受け、それを小説で告発した小林多喜二もまた逮捕されその日の内に凄まじい拷問で虐殺された。 ドイツでは、ナチス自らが仕組んだ「国会放火事件」を共産党のせいにする謀略事件を起こして弾圧。これによって、当時百議席の国会議員を有していたドイツ共産党は壊滅、忽ち非合法化され、ナチスの一党独裁政治が始まった。 いま、「新しい戦前になるのでは」と云われている時、『反共は戦争前夜の声』の意味をより多くの人々に知ってもらいたいものと思う。

(大宮平和美術会 小池)

「国会請願」まで一ヶ月、最後の追い込みで「署名集め」を成功させ50回目の節目の「請願行動」の成功を… 二人の手記を掲載します

罪人のまは許されない その心を署名に込めて

治安維持法下の時代、世界恐慌のありを受け、不況のなか日本は中国へ活路を求め侵略へと突き進む。天皇の絶対的専制支配のもと国民は天皇の臣民とされ貧困と無権利状態におかれ、文字通りものも言えない暗黒の時代、弾圧を恐れ多くの国民が絶えていた。その様なき、権力に抗し命の危険を覚悟して戦争反対・自由と民主主義を掲げて立ちあがった者たちがいた。そして、戦争に敗けこの方々の命の叫びが今日の憲法に生かされた。にもかかわらず日本では「治安維持法犠牲者」は今日に到るも罪人のまゝなのである。

参加するサークルや団体の集まりにも出かけ署名用紙を回覧方式で回すこともあります。

治安維持法の話は民主主義の問題です、難しく考えないでお願いします。署名するしないは相手が決めること。ひとりでも多くの署名を集め国会へ届けましょう。犠牲者のいのちの叫びに応えましょう。

狭山市 林 登美男

大切な「黄色の署名」 持ち歩くことが必須

署名をお願いするとき私はこのことを説明します。国がきちんとお詫びをして名誉を回復していただく、このことが今を生きる私たちの責任です。小林多喜二や伊藤千代子の話をします。署名用紙は何時も持ち歩き気軽にお願いし友人知人への頼める方が居たらお願いしますと用紙を預けます。自分が

国賠同盟は、闇夜を照らす光だ。一隅を照らす組織的な源であり希望そのものだ、と確信する。だからこそ、たとえ求められなくてもハーモニーを携え自転車30分程の距離にある駅前宣伝行動に積極的に参加する。場を和ませ、注目の的になる。浦和駅頭にて「戦争させない！埼玉の会」の一員としての行動、ギター・バンジョー・三線・トロンボーン等の合奏のある時も「希望の楽団」の名までついている。その中で、まさにハーモニーを醸し出す楽器と言ったことができる。(次ページ)